



ただいま!

— あたたかな第2の家庭を目指して —



新1年生のみすみっこ入所式



玄関前の桜の木の下で



一輪車が大好きな子どもたち



運営委員会も発足しました

がくほれんの

新しい仲間

南平田学童保育所 みすみっこクラブ

四月一日より、がくほれんに仲間入りした南平田学童『みすみっこ』クラブです。よく聞き返される名前ですが、元の平田町の花・みすみ草から由来されているそうです。

平成十一年に開設し、十七年間地元で運営されてきた歴史もありますから、その移行には継続児童と新入所児童合わせて八十一名の大所帯の中、とまどう事も多くありました。が、お互いに慣れるまで、子どもたちや保護者の皆様とも話し合ったり確認したり、なるべくコミュニケーションをとりながら、少しずつご理解を頂き生活作りをしてきています。

『運営委員会』も他の学童同様のメンバー構成で四地区のコミュニティ振興会会長、PTA会長、民生委員代表のご協力のもと、六月二十日に発足する事ができました。保護者会も四月・七月と二度開催して、九月三日には保護者会事業「BBQ祭り」を計画し、晴天のもと約百名の参加者で開催されました。

元氣いっぱい『みすみっこ』の子どもたちは、時にはトラブルもありますが、何かあると知らないふりをせず周囲の子がすぐに集まり、話を聞いたり助けたりという優しさもたくさん見せてくれます。地域や学校、保護者の皆様に見守られて、今後も子どもたちと共にたくさんさんの経験・体験をして行きたいと思っています。

(指導員 梅津満希子)

ギラギラ太陽 暑さにも負けない!! 元気な子



楽しかったサマーキャンプ あおぞらクラブ(富士見)

七月二十三日〜二十四日、大鳥自然の家へキャンプに行ってきた。

ここは山々に囲まれ、耳を澄ませば溪流のせせらぎが聞こえ、ゆったりとした雰囲気のところ。

大鳥自然の家に到着し、入所式水着に着替えて、ライフジャケットを着用し川遊びへ。自然の中で思いっきり遊ぶう!

天候にも恵まれて、青空の下で魚つかみ。一生懸命に魚を探し、見つけたら必死になって追いかけてました。捕まえた魚は、さばき方



夏は、やっぱり川だねえ〜

自然、満喫だよ〜!



もご指導いただきました。炭火で焼きあがった魚は格別に美味しかったです。

場所を移動して、幻想的な風景の中でのカヌー遊び。夏の澄みきった川はちょっと冷たかったけど、指導員さんからカヌーの乗り方を教えてもらい、カヌーに乗ったら夢中になってパドルを漕いで楽しみました。

夜には花火をしたり、ナイトハイキングに出かけたり、盛りだくさんのサマーキャンプでした。

(キャンプリーダー 加藤美幸)

親子でフクフクキャンプ みさとクラブ(平田学童)

みさとクラブでは、七月十六日に神室少年自然の家にて、一泊二日のサマーキャンプを行いました。親子総勢四十六名が参加し、初日は川遊びにボンファイヤー、二日目にはうどん作りと盛り沢山な内容でした。

「熊出没注意」の看板を横目に、到着するなり嬉々として走り出す子ども達。ライフジャケットなど本格的な川遊びに、「足が届かないよー」「あー! 魚いる!」と時間も忘れて没頭しました。薪割りから準備したボンファイヤーでは火の神様も現れ、楽しく? 合唱をし、色とり取りの花火を満喫しました。



太かったり、切れたり、でも手づくりはおいしい〜!!

うどん作りはみんな粉まみれ。コシを出すためドンドン足踏みした後、子ども達が包丁で切り揃えたうどんは太かったり切れたり。でも、トッピングをのせて味は格別でしたよ。

予定通りに進んだキャンプでしたが、子ども達は興奮冷めやらず寝不足だったようです。それでも自然の中で自発性や集団生活を体験出来て、楽しい思い出となりました。

今回はテルテル坊主のおかげもあり、また指導員の先生や保護者、所員の方々のご協力により無事に終える事が出来たと思います。皆様に感謝！

(キャンプリーダー 高田裕之)



公益文科大学生の活動

子ども食堂をとおして子ども達の健全育成

公益文科大学四年生の十三名がゼミを通じて、地域の活性化や地域貢献をめざし、「こども食堂プロジェクト」を、このほど宮野浦コミュニティセンターで開催し、十九名の学童児が参加しました。

地域貢献活動資金を寄付金に頼らない、資金の内部循環型の自立した活動に取り組み、「活動資金は自分達の手で」を合言葉に、酒田青年会議所の協力を得ながら酒田祭りの宵祭りに出店、「山鉦パンケーキ、庄内焼き、芋煮」等を工夫を重ね、販売したところ大盛況で、資金を確保することができ、



このプレイベントにこぎつけることができました。

当日は、学生のほかに青年会議所会員の四名も加わり、午後四時の集合と同時にゲームや風船遊び等で子ども達は汗だくになり、お兄さん、お姉さん達との交流を楽しみました。その後、子ども達はレタス、キュウリ、トマト、ハム等を使い自分の食べる野菜サラダ



を盛り付け、学生が作った大盛りのパスタとスープの提供を受けて、満面の笑みを浮かべながら、賑やかな夕食のひとつを満喫しました。リーダーの公益大四年の小山光歩さんは、「食事は、家族だんらんの間ですが、今日は私達とのだんらんを楽しんでほしい。」と話し、「調理の体験や野菜をいっぱい食べる等、食育をおして子ども達の成長に役立ちたい」と抱負を述べてくれました。(事務局)

田宮和朗様 (酒田市みずほ)

ご寄付をありがとうございます(平成二十七年)

いただいたご芳志で、全学童に次のものを備えました。

■非接触式体温計

■図書

「日常的な場面での救急処置」

子ども達の健康管理に役立てたいと思います。ありがとうございます。



「私たちのコミセン、花いっぱいにするんだよ」
花壇づくりに一役（若浜）



「おにいさん、おねえさんたちはやさしい!!」
学童(旧酒田商業高校)登所の練習(亀ヶ崎)



「とどくかな～、サクランボおいしかったよー!!」
櫛引にサクランボ狩り(松原第二)

● 新型栄養失調 ～現代の食事はミネラル不足～ ●

「食事のミネラル（マグネシウム・鉄・亜鉛・銅・カルシウム等）不足」が問題になっています。本誌第4号で「添加物の害」を取り上げましたが、今回は「添加物がある物を食べる」を考えてみます（添加物が無い物を見つけるのは難しいので……）栄養がある物と考えると、カロリーが多いものを選んでしまいがち。でも、身体に必要なものはミネラルもあります。

次のようにPRされた食材もありますね。

① 下ゆでしています（水煮野菜）

↓ 水に溶けるミネラルがすでに抜けている。

② 精製しています ↓ ミネラルがすでない。（サラダ油はミネラルがゼロ）

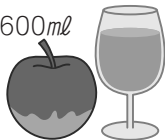
③ 真っ白・プリプリです ↓ リン酸塩がタップリ。（ミネラルの吸収を妨げます）

カレーやシチューなどでも、ルーは使っても野菜は素材から作る。

みんなで作ろう手作りおやつ 「本物のビール? りんごジュースゼリー」 今回は

◆材料（4人分）

- 透明なタイプのりんごジュース 600ml
- ゼラチン 15g
- 水 50ml



◆作り方

- ① リンゴジュースを鍋に入れて、沸騰直前90℃くらいまで温める。ゼラチンは水で戻しておく。
- ② リンゴジュースにゼラチンを入れて、ゼラチンが見えなくなるまでよくかき混ぜる。
- ③ ②のリンゴジュースの4分の3をガラスコップにわけて注いでおく。
- ④ 残り4分の1のリンゴジュースを常温まで冷まして、氷水で冷やしながら凝固寸前まで泡だて器で泡だてる。
- ⑤ スプーンで③の上に泡をのせて冷蔵庫で冷やし、固めれば完成。まるで本物のビールのようなゼリーです！ 乾杯!!

（後藤）

あ と が き

今年は、新たに南平田「みすみつこクラブ」さんを仲間を迎えることになりました。

十三学童の子ども達とその家族の方々が、真夏日の続く中、暑さに負けず元気に活動している様子をご紹介させていただきました。（杉山）

ミネラルは車で言えば、エンジンオイルやバッテリー、フィルター等、燃費向上には欠かせないものばかり。積極的に摂り入れましょう。（義明）

